

延岡市食育推進計画（案）への意見募集（パブリックコメント）の結果について

延岡市では、延岡市食育推進計画を策定するにあたり、延岡市食育推進計画（案）について、平成21年12月25日から平成22年1月20日までの間、ホームページにより市民の皆様から意見を募集しました。その結果、2名の方からのご意見をいただきました。お寄せいただきましたご意見、及びそれに対する延岡市の考え方は以下のとおりです。貴重なご意見ありがとうございました。

ご意見 1

よく子ども達の農業体験などがテレビや新聞などで取上げられています。それをもとに各個人で育ててみてはどうかと思います。よく小学校1年生は、自分の鉢に「あさがお」を種をまいて育てますよね。夏休みは自分の家に持って帰って水をあげたり、また学校にもよるけど観察したり、種を集めたりなどしています。同じように野菜でやってみてはどうでしょうか？もちろん最初は誰でも育てやすいものから。ただ収穫だけを体験するのではなく、どうやって育てていくのかっていうのは自分達で実際に体験しない限り大切さというのは分からないと思います。

学校で、一人一個この野菜を育てましょうと課題をだしてみてはどうでしょうか。

もちろん家族で協力しながらやっても構わないし、また自分で種から育てたものを収穫するのは達成感があるし、美味しさも違うはず。その食材と一緒に料理をするのも面白いと思います。

これは、あまり関係ないと思いますが、私は中、高生にダイエットについての間違った知識を見直した方がいいと思います。実際私が経験したことだから言えることです。単に体重さえ落とせばいいと考えていた私です。そのため色々な食べ物を避けていました。肉類や卵などは脂肪のもとだから、米やパンなどの穀類は糖質でカロリーが高いからと、血や肉を作るためのタンパク源、体のエネルギー源となる糖質、それらを食べなかったことで体に様々な症状が出ました。もちろん体だけでなく精神もです。自分が自分じゃないようになり何が起こったのかわからないときがありました。今はだいぶ落ち着いています。だけど完治はしていません。2年前に始めたダイエットですが、食に関する執着心などが抜けるのに約2年と長かかります。ダイエットによって、栄養不足となり、健康面で害がでてしまいます。とくに中、高生になると「やせ」にこだわる子が出てくると思います。成長期という大切なときに一歩間違えたら危険な状態を招くものを伝えないとその子たちにとって食の大切さがどんなものなのかが分からないと思います。またそのような子の中に朝ごはんを食べなかったりするのです。食育を伝えるのであればそれも伝えないと小さい子（小学生）にはまだわからないから、一緒に料理を体験したり、農業での収穫体験でもいいけど、中、高生の考えは小学、幼稚園の頃と全く違うのです。私はこれをきっかけに現在「食育インストラクター」の勉強をし、今年11月に「食生活アドバイザー3級」の資格を取りました。

以上が私の意見です。

延岡市の考え方

学校における野菜等の栽培や栄養面の指導につきましては、計画書の26ページ「①学校教育活動全体を通じた指導体制の充実」「②食に関する指導の充実」に記載しております。ご意見は、今後の具体的な取組を進める上で、参考にさせていただきたいと思っております。

ご意見2

延岡市食育推進計画（案）について、以下のとおり意見を述べさせていただきます。

全体的に延岡市の特性、特色を生かした内容となっており、食と農の視点も大切ですが、食と健康に視点を置いて良く書かれてあると思えました。また、見やすく市民がみても分かる内容となっていると思います。

何点か気づいた点がありましたのでご参考いただけるとありがたいです。

1. アンケートの取り方について

内容は国や県との比較ができる内容になっており、回収率もいいので良いと思いますが、アンケートの対象者の選定の仕方がもったいなかったと思います。統計の分かる有識者は入っているのでしょうか？大まかの指標にはなると思いますが、母数を間違えると結果の視点も間違ってきます。国や県の比較をするなら同じにしないと、多かったとか少なかったというめやすも統計的にバイアスがかかり、真実かどうか疑わしいと思います。アンケートをとるときは無作為でなければならないと思います。また、対象学校の選定も、学校栄養職員や栄養教諭がいるのといないのでも、介入回数で内容が若干違ってくるのではないのでしょうか？また、事業所職員や子どもの保護者にアンケートをとって「市民」とするのともいかなものか？10歳間隔の年齢構成（それぞれ同じ人数？）

や性別の割合（女：男＝？：？）からも数値は変わってきます。今回の結果はもしかしたら、成人だけでも無作為にしたらもっといい結果になっているのかな？と感じました。

25年度の評価を行うときのアンケートをとる対象は同じ団体にされたら、これらの問題は少し解消されると思います。正しい評価をするならそれは必ずすべきです。

2. その他気づいた点

・ p 7（1）食事内容と食事習慣→食事バランスガイドの普及を行うなら、問いの並びを、食事バランスガイドの上から順番で主食→副菜→主菜→果物→牛乳・乳製品にする
と良い。

・ p 23～24 具体的施策（3）保育所・幼稚園における取組の推進の①②の後に、（2）学校④にある「家庭・地域との連携の推進」を入れて欲しい。→理由：市民としてその部分が薄いと感じるからです。

・ 食生活改善推進員の方の活動はしっかりされておられるので、食生活改善推進員の名が全面に出ているのですが、その他に食を推進するボランティアの方がおられるのではないのでしょうか？農政の方に食育推進リーダーという方もおられるのでは？その他、自主団体も探せばあるような気がします。なので、「等」を加えた方がお互いに動きやすくなりませんか？

・今、飲食業の方々が、「チキン南蛮」を全国に発信されていますよね？どちらかという
と、外食・中食が食育をだめにする印象がありますが、そのような産業界の方々も味方
につけて巻き込んだ上手な食育も考えていくべきではないでしょうか？外食・中食を地
産地消・ヘルシーメニューにしていき、市民が上手に選ぶという道も大事かなと思いま
す。

長々とすみません。以上、ご参考ください。よろしく申し上げます。

延岡市の考えかた

1. アンケートの取り方について

今回のアンケート調査では、食育施策の参考として、より多くの皆様の食に関する
現状を把握するため、無作為抽出ではなく、調査対象の皆様へ調査票を直接配布・回
収する方法で行いました。

ご意見は、今後の参考にさせていただきたいと思います。

2. その他気づいた点

- ・ご意見を踏まえ、内容を修正します。
- ・保育所・幼稚園と家庭・地域との連携については、計画書の27ページ「①保育
所・幼稚園における指導の推進」の2)と4)に記載しております。
- ・ご意見を踏まえ、内容を修正します。
- ・飲食業との連携については、計画書の32ページ「②飲食業などにおける食育の
推進」に記載しております。ご意見は、今後の具体的な取組を進める上で、参考
にさせていただきたいと思います。